

令和8年度第1回 愛知県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
運営協議会開催概要

1 開催日時 令和8年7月22日（水）15：00～16：30

2 開催場所 愛知支部名古屋事務所1階会議室

3 主な議題

イ 令和7年度業務実績について

ロ 令和8年度訓練計画について

ハ その他

4 議事経過

資料に沿って事務局から説明の後、質疑応答が行われた。各委員からの主な意見は以下のとおり。

（離職者訓練について）

- ・「就職率等推移」に関して実績が着実に伸びており、事業が着実に進展していることがうかがえ、ポリテクセンター中部の努力がしのばれる。引き続き、有用な職業能力を習得した求職者の育成に務めていただきたい。
- ・ポリテクセンター名古屋港における正社員就職率の向上に向けた取組については、ハローワークとしても支援していくため、引き続き連携をお願いする。
- ・小規模事業者、中小企業にあっては、近年のAIやDX、デジタル化の重要性が高まる一方で、そのような分野に対応できる人材を自社で育成することが難しいことから、ポリテクセンターにおいて実践的な知識やスキルを備えた人材を育成していただき、規模の小さい地元企業への人材輩出につながるよう取組の充実をお願いしたい。

（生産性向上支援訓練について）

- ・当団体の会員企業、会員組合には小規模事業者が多く、業務全体を変えようといったニーズよりも、バックオフィスの総務・経理の人材育成を求める傾向にある。昨年度から生産性向上支援訓練を活用しており、引き続き活用していきたいと考えているが、訓練を受講した者からは、少しフェーズを上げたより高度なレベルの訓練を受講したいとのニーズも把握していることから、今後の訓練受講に向けて改めて相談させていただきたい。

（学卒者訓練について）

- ・少子化の影響等により受講者確保が課題となる中、オープンキャンパスや職業訓練体験など既存の取組のほか、内容の改善や新たな取組の計画等、港湾の仕事の魅力を伝える取組を積極的に実施し、若年者の関心喚起につなげていただきたい。

（その他）

- ・障害者の法定雇用率が2.7%に引き上げられたことにより、当団体の会員企業から対応に苦慮しているとの話を聞いており、このような企業がJ E E Dにおいて取り扱う助成金等の活用や、障害への理解促進に係る人材育成に関する支援を受けられることが障害者雇用率向上への一助になると考えられることから、当団体も広報PRに協力するため、連携をお願いする。

令和8年度第1回 愛知県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
運営協議会 委員名簿

区 分	氏 名	所 属 及 び 職 名
学識経験者 (3名)	藤 本 英 雄	名古屋工業大学大学院 名誉教授
	三 品 信	中日新聞社論説室 論説委員
	鈴 木 雅 也	一般社団法人愛知県専修学校各種学校連合会 理事
労働者代表 (1名)	川 島 一 家	日本労働組合総連合会愛知県連合会 副事務局長
中小企業等代表 (4名)	伊 藤 雅 則	愛知県商工会連合会 専務理事
	佐々木 靖 志	愛知県中小企業団体中央会 専務理事
	國 保 雅 文	小牧商工会議所 専務理事
	山 本 敦	名古屋港運協会 船内部会 部会長
行政機関 (3名)	伊 藤 勝 敏	愛知労働局 職業安定部長
	高 木 健 一	愛知県 労働局長
	落 合 健 一	小牧市 地域活性化営業部長

(順不同、敬称略)